



飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

**“ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を”**

RI会長
ロンD.バートン
2570地区ガバナー
中井 眞一郎

継続 変革 簡素 充実

第 2594 例会 2014. 5. 7

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎ (042) 974-4000
事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 晴 (NO. 50-45)

会長 吉田武明 幹事 山岸敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 市川(昭)君、伊澤君

- ・点鐘 吉田武明会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 小川職業奉仕委員
- ・卓話 阿部昇吾様

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
61名	6名	51名	83.33%	91.23%

【会長報告】

山岸幹事より大木会員の状況について報告を受けておりましたが健康そうな大木会員の顔を本日拝見出来て本当に良かったです。

細田(吉)会員が会長の(一社)奥武蔵天覧山周辺再生の会の事業に当会も微力ながら協力していますが、その御礼文を頂戴しました。

ロータリーレート1\$ = 102円。

中井ガバナーより、高校生社会体験活動に協力頂ける事業所の募集。鶴ヶ島清風高校を11/10~13受け入れ。3年前120事業所から昨年は80に減ったとの事です。

【幹事報告】なし 高橋副幹事

【委員会報告】

◎(一社)所沢法人会講演会 市川(洋)君
5/28(水) 15:30「脳を知り 脳を鍛える」
ホテル・ヘリテージ飯能sta.

◎親睦活動委員会 吉田(行)君
4/18 親睦ゴルフ大会チャリティー残金
14,696円をニコニコBOXに寄付。ご協力に感謝。親睦旅行は47名で出発します。5/18
飯能駅改札7:15集合。橋本パスト会長、ご
寸志有難うございました。

【出席報告】無断欠席・MUなし 矢島(高)出席委員

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・皆様のお見舞い励まし有難うございました。今後共どうぞよろしくお願い致します。大木君
 - ・大木さんお帰りなさい。またよろしくお願い致します。吉田(武)君、間邊君、山川君、小谷野君
 - ・大木先輩お久しぶりです。リハビリ頑張って早く良くなって下さい。 矢島(巖)君
 - ・大木先輩お元気で何より。これからも毎週お会い出来る事とても楽しみです。安藤君
 - ・阿部さん今日は卓話よろしくお願い致します。吉田(武)君、間邊君、山川君、小谷野君、細田(吉)君、高橋君、大野君
 - ・阿部さん卓話ご苦労様です。在宅医療については医師会ともどもお世話になります。土屋(崇)君
 - ・親睦ゴルフ大会チャリティー金です。14,696円。 親睦活動委員会
 - ・早退 細田(伴)君、大野君
- 本日計46,696円、累計額1,247,832円。
◎14日例会当番は加藤、神田(康)会員です。



【卓 話】

講師紹介

矢島(高)出席委員

S55年、神奈川県秦野市生まれ。H15年、名栗園入社。飯能市の地域包括支援センター、名栗園総合相談センターのセンター長として活躍。現在33歳。

飯能市の高齢者福祉について

飯能市地域包括支援センター
センター長 阿部昇吾様

「地域包括支援センター」9年の活動の中から高齢者の現状と、名栗園の紹介をさせていただきます。

〔スライド併用〕S44年、旧名栗村西小学校が廃校となり公有財産である校舎を借り受けて始まったのが「社会福祉法人名栗園」。特別養護老人ホームとしてスタート。設立後45年経過、創始者・石井岱三施設長は現在会長。職員数524名。県内5つの特別養護老人ホームと、市内に軽費老人ホーム、養護老人ホームの2か所。入居者624名の命を預かり毎日の生活が送られています。他、在宅のためのデイサービス、ヘルパー等の事業所もいくつかあります。

「社会福祉法人」としての新しい取り組みに「地域生活定着支援センター」と連携、矯正施設(刑務所等)を出た方の生活の場を調整する支援が始まりました。昨年2月、3名の出所者を軽費老人ホームで受け入れ。前例が無く、県内でも取り組みが始まったところ。3名は軽微な犯罪を繰り返す、刑務所への入所を繰り返して所持金も預貯金もありません。飯能市にお手数をかけますが、生活保護を申請、受給しながら生活がスタートしました。「矯正施設に居た事を絶対明かさないと」を条件に入居となっています。2、3か月の間は、行方不明になったり大変な状況もありましたが、1年経過してだいぶ慣れて来ました。刑務所も高齢化、障害者も居ます。こういった方の受け入れが今、始まっているところです。

名栗園の基本理念は「人を人として介護する」。最近それが当たり前に出来なくなってしまう状況に陥りがち。大切にしたい理念です。被災地にも職員を派遣。先月は福島県の老施協(老人施設協議会)より依頼があり、2名の介護職員が行っております。

H18年、介護保険法改正に伴い「地域包括支援センター」が開設。市直営の所と民間委託の所がありますが、飯能市は4か所の民間委託型のセンターが65歳以上の介護に関する相談窓口となっています。介護保険制度では、介護申請すると訪問調査員が来て調べ、医師に意見書を書いてもらい、それによって認定が出る。対象者は65歳以上の要介護高齢者および40～64歳の特定疾患(16疾患)の方。介護保険料は40歳以上から支払う。3年に1回見直し、次は来年4月。軽い認定の方のヘルパー、デイサービス利用等は飯能市主体に移行、また、年金収入の高い方は自己負担が1割から2割になる予定です。

「主任ケアマネージャー」は、市内60人程のケアマネージャーの相談支援、研修企画、医師会との連携を図る等しています。「保健師・看護師」は介護が必要になって来た方に「元気アップ教室」等への参加勧奨。私の持っている「社会福祉士」は主に権利擁護、成年後見制度利用申立て、高齢者虐待の対応、ガン末期の方が在宅に戻るための支援、訪問販売の



被害者と市の消費生活相談員との連携を取って返金してもらったりもしています。

今、団塊の世代が75歳になる「2025年問題」が言われています。昨年、市の人口8万1千人のうち65歳以上が2万1千人。高齢化率26%(4人に1人)。12年後は3人に1人になる予定(吾野、名栗

の現状と同じ)。要介護1、2が多いので、市として施策すべき。飯能市の介護保険料5,102円は県内で2番目に高いが、市内にいろいろなサービスが充実している。「2025年には8,200円に」という試算もある。生活出来ない状態になってしまうよう介護保険の適正な利用等を行政は進めています。

市民活動センター「歌ごえ健康講座」(毎月第3火曜)は最近人気。うつ、閉じこもり、認知症の予防を中心に予防活動をしています。全国3,079万人の高齢者のうち認知症の高齢者は462万人(有病率15%からの推計値)。飯能市に当てはめると認知症の方が3,200人、予備軍2,800人。介護保険の申請をされている方は3,300～3,500人おられます。

私に関わった80代男性には親族が見当たらず、認知症診断のための病院受診、介護保険、生活保護の申請と、入院中の夫人の手帳取得の申請を行う。「成年後見市長申立て」には、戸籍を取ったり本人通帳のコピー、家賃・入院費の支払い、後見人探しの手続き等、時間が掛かる。四親等内の親族がおられない場合、家庭裁判所に「市長申立て」をし、亡くなるまでの身上監護と財産管理、いろいろな契約事項(借家賃貸等)を本人に代わって後見人が行う事となる。

70代夫妻の事例。妻が民生委員宅に逃げ込み息子が追いかけて来た。息子からの虐待を民生委員に相談していたところだった。夫妻は千葉から狭山に逃げ、車中生活もした。狭山では山に連れて行かれ裸にされ金銭を要求される。中学時代、息子はいじめを受けている。両親は息子と相互依存関係にあり、どんなに嫌な事をされても心配に思う状況。虐待の発生はH19年。夫妻を保護しても施設での生活が続かず3週間位で自宅に戻る。DVも同様だが、保護しても家に戻ってしまう。息子は5年服役、出所後すぐ、H25年に再び虐待。700万円の預金を全て取られる。夫妻は施設に保護されている。私達に関わる方々には、孤独死、認知症、末期がん、精神患者と同居する(虐待のある)家族等が居られる。

「地域包括支援センター」として求められているのは継続した支援。(医療機関・ケアマネージャー・介護保険事業所等)関係機関と連携してその方に関わっていく事。病気の理解を家族、地域の方にして頂く事。最近では「ふくしの森プラン」による、地域の方が集まって相談に乗ったりする組織とも連携を取っていく事も必要かと思えます。現状に満足せず、常に前を、上を向いていきたい。難しいからこそやりがいがある。断らずに挑戦する。気付いたら行動する。「自分が変わる、自分が変える」という事も大事だと思っています。たばこのゴミ拾いを始めましたが、小さなところから環境が良くなり、住む人の心が良くなって、自分も気持ち良くなり、地域の方も気持ち良く生活していく事が出来ればいいのかなと考えております。

※次週の例会案内は省略。